

夏休み中の感染対策

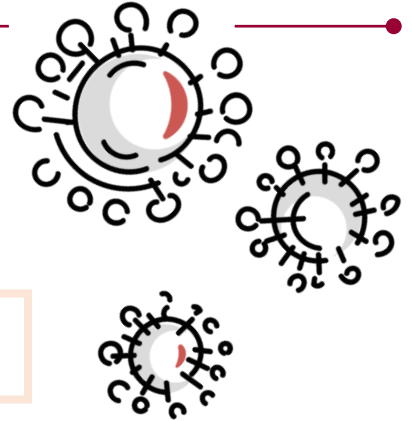
新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株のBA.2系統からより感染力が強いといわれているBA.5系統への置き換わりが進み、感染が急拡大しています。そんななか流行株の特徴を踏まえ、**濃厚接触者の待機期間の短縮(7日間から5日間)**等、対策の見直しがなされています。行政機関等からの情報発信に注目し、最新の感染対策を心がけましょう。

オミクロン株の特徴

- 感染・伝播性が高い
- 潜伏期間と発症間隔が短い
- 高齢者は若年者に比べて重症化する可能性が高い



- **感染者、濃厚接触者が急増**
- 高齢者に広がると、**重症者が増加** → **医療体制ひっ迫のおそれ**



重症化リスクのある人への配慮を！

高齢者や基礎疾患のある人と会うときは、感染させないよう最大限の配慮をしましょう！

- ◎ 可能な場合は事前に検査で陰性を確認する
- ◎ 不要不急の訪問を避ける
- ◎ 感染リスクの高い場所の利用や会食を避ける
- ◎ マスク等の基本的対策を徹底する

基本的感染対策の継続を！

- ◎ 熱中症に注意しながら基本的な感染対策を継続しましょう
- ◎ 日々の健康状態を把握し、何らかの症状がある場合は、部活やイベント等への参加を控えるか、可能であれば検査で陰性を確認した上で参加するようにしましょう
- ◎ ワクチン3回目接種がまだの人は接種を検討してみましょう → 厚労省ワクチン情報

